

12/10（水）ロシアンメソッドピアノ研究会に参加して

今年の 2 月に行われた松田紗依先生のロシアンメソッドの講演会が、私にとって紗依先生との初めての出会いとなりました。ロシアン奏法について何も知らなかった私が、初めて先生の弾かれたピアノの音を聞いたときの感動は今でもはっきりと記憶しております。その音色は、澄んだ とても伸びやかな 心地よい響きでした。それから 1 年もしないうちに、こうして少人数で、しかも素晴らしい彫刻とともに、暖かい空間のある、ご自宅のアトリエ松田にて、このようなロシアンメソッドピアノ研究会が行われ、それに参加できている自分が幸せ者だと思われずにはいられないのです。

研究会は、先生のお人柄のせいか、緊張した雰囲気もあまりなく、でも、一音一音に対して本当にみんな意識を集中させて、レッスンは進められます。一人ひとりみんな癖があり、それを色々な方向から直してくださるので、ピアノを指導していくうえでも、生徒に当てはまることが多く、「なるほど！」と気付かされることも度々あります。弾く前に、よく聴くことの大切さ、伸びていくまるやかな音色、それを行うためのノンレガート奏法の練習方法、そして、私たち指導者の伴奏によって、生徒をいかに楽しく集中させ、興味を持たせるか。アイデアのあふれた虹色のペンで大きな花丸をあげたり、上手にほめてあげたりすることで、指導においてのアドバイスをテクニックはもちろんのことトータル面でさりげなく教えてくださる先生の暖かさは格別です。

「ピアノレッスン 1-a」を先生の細かな注意とともに、大切に練習することで、「1-b」「2」「3」と、どんなにきれいな音で演奏していけるのか、楽しみで仕方がありません。このような貴重な体験を与えてくださる先生に、感謝の気持ちで一杯です。

レポート by 河野露香